

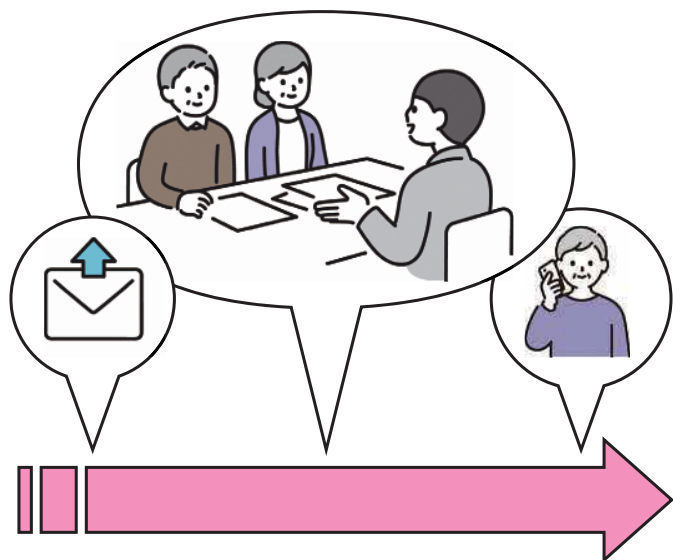
くるみちゃん通信

No.6



都内初！伴走型支援を行う相談窓口「くるみ相談室」OPEN

一緒に考えながら継続的に支援する



品川区では、認知症や介護についてのお悩み、心配事の相談窓口として、令和6年7月から「くるみ相談室」をOPENしました。

くるみ相談室（伴走型支援事業）では、認知症のご本人とご家族からの相談を受け、専門的な助言を行いながら、継続的に支援します。

認知症になっても介護が必要になっても安心していただけるよう、一緒に考えていきます。

その人に合わせた方法でスムーズに

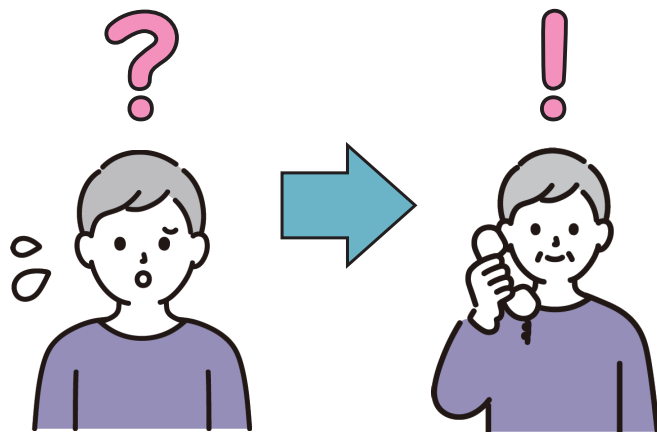
認知症や介護が必要になると、現状を認めたくない気持ちや、不安な気持ちがこみあげてきます。人に相談しにくかったり、誰と何を話したらよいかわからなかったり、モヤモヤしますよね。

くるみ相談室の特徴は、様々な方法で相談に乗ることができ、対応がたらいまわしにならずに、返答もスムーズに行なわれることです。

多くの方は、メールや電話相談をきっかけに、慣れてきたら、認知症カフェで話を聞いたり、必要に応じて、施設の見学を一緒にしたりしています。

「家から出なかった母が、外に出て楽しいと喜ばれており、驚きました」と新たな一歩を踏み出した方もいます。

「どうしよう」と思ったら、連絡を



年齢に関わらず、自身や家族、友人、職場の同僚など、誰もが認知症になりえるので、自分事として日頃から意識しておくことが大切です。

認知症になったら「終わり」「絶望」ではなく、認知症になったから「できること」「わかること」もたくさんあります。（次のページへ続く）



- ・認知症ってなんだろう。
 - ・認知症や介護についてどこに相談したら良いのかわからない。
 - ・認知症と診断されるとこわい。
 - ・介護の方法や受けられるサポートを教えてください。
- など、どんなことでも構いません。
「どうしよう」と思ったらくるみ相談室に連絡を
してみましょう!!

介護現場のスタッフや品川区認知症地域支援推進員が伴走するように、一緒に考えていきます。

「くるみ相談室」のご利用はこちら

小山倶楽部「くるみ相談室」

■受付日時

毎週 月・水・金曜日(午前10時～午後3時)

■相談方法

電話・メール・来所・訪問など

※来所・訪問は、事前にご相談ください

■問合せ先

TEL: 090-6078-3184

MAIL: bansou-sinagawa@
kinoko-group.jp



認知症地域支援推進員

Q&A

くるみ相談室担当

社会福祉法人新生寿会
小山倶楽部 施設長 兼
東五反田倶楽部 施設長
下村 一真

Q いまチャレンジしていることは?

A 昨年は24時間100キロウォークに参加し、約21時間で完歩しました。今年はフルマラソンにチャレンジしたいです。

Q 現在の職について理由は?

A 高校は工業系でしたが、医療・介護に携わる家族の影響で、福祉の道へ。少人数制で利用者一人一人に寄り添えるケアを提供する「ユニットケア」に惹かれて、現在の法人に転職しました。

Q 仕事をしていて嬉しい時は?

A ケアにあたるスタッフなど様々な方がいきいきとしている時です。ご利用される方ご本人や、ご家族様の幸せや満足感はもちろんですが、ケアにあたる方たちもいきいきできていると嬉しいですし、安心します。

ご覧の皆さまへのメッセージ

「認知症」の人ではなく認知症の「人」。認知症になっても、なったからこそ開ける人生もあると思います。認知症の方を変えるのではなく、関わる私たちから変わることを大切に引き合っていきたいです。忘れても大丈夫。かわりに覚えてくれる方がたくさんいます!!



発行 | 品川区 高齢者地域支援課 認知症施策推進係
TEL:03-5742-6802 FAX:03-5742-6882
執筆協力 | 品川区認知症地域支援推進員 下村一真(社会福祉法人新生寿会 小山倶楽部・東五反田倶楽部 施設長)



◀過去の通信は
こちら

